

多様な人材が活躍できる ダイバーシティ経営の視点と実践



Contents

- ・フセハツ工業(株) 7頁
- ・まねきや硝子(株) 8頁
- ・(株)モトックス 9頁

多様性がもたらす
イノベーションの必要性

ダイバーシティ経営とは「性別、年齢、国籍、働き方などが異なる多様な人材が能力を最大限発揮できる機会を提供することでイノベーションを生み出し、価値創造につなげる経営」である。人口構造の変化に伴う人手不足を背景に、女性や高齢者、外国人などの労働市場への進出が進んでおり、異なる知識や経験を持つ多様な人材たちが刺激し合いイノベーションが生み出されることが期待される。変化が激しい時代の中で、企業が生き残るためには、新たな価値創出が求められることから、ダイバーシティ経営は競争力強化に有益と考えられる。しかし、労働者の多様化に合わせて組織や労働環境を見直し、一人ひとりが能力を発揮できる環境づくりが必要

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます

お知らせ

記事の内容以外にも生の声が聞ける!!

【シニア・女性人材活用セミナー】多様な人材を企業成長の柱に!

シニア世代やマザーズの活用企業の取り組みなど好事例を紹介!!

日時：2024年3月21日(木) 14時～16時
場所：東大阪商工会議所 本所本館4階大会議室1
講師：(株)ICB 代表取締役 瀧井 智美 氏
内容：基調講演「ダイバーシティ時代における組織づくり」
活用事例1 フセハツ工業(株)
活用事例2 まねきや硝子(株)
施策紹介



▲登壇者(左からフセハツ工業(株)吉村氏、(株)ICB 瀧井氏、まねきや硝子(株)奥山氏)

※予告なく内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。